

複数月平均 80 時間を超える教職員
0 人を目指して

働き方改革 通信

For everyone's Smile

第 9 号
令和 3 年 12 月
山形県教育庁

お知らせ

○県立学校職員において

(1) 下記の書類に関して申請者の押印が不要になりました。

営利企業等従事許可申請書 兼職等承認申請書
履歴事項異動届 職員証再交付申請書
年次有給休暇承認申請書 特別休暇承認申請書 等

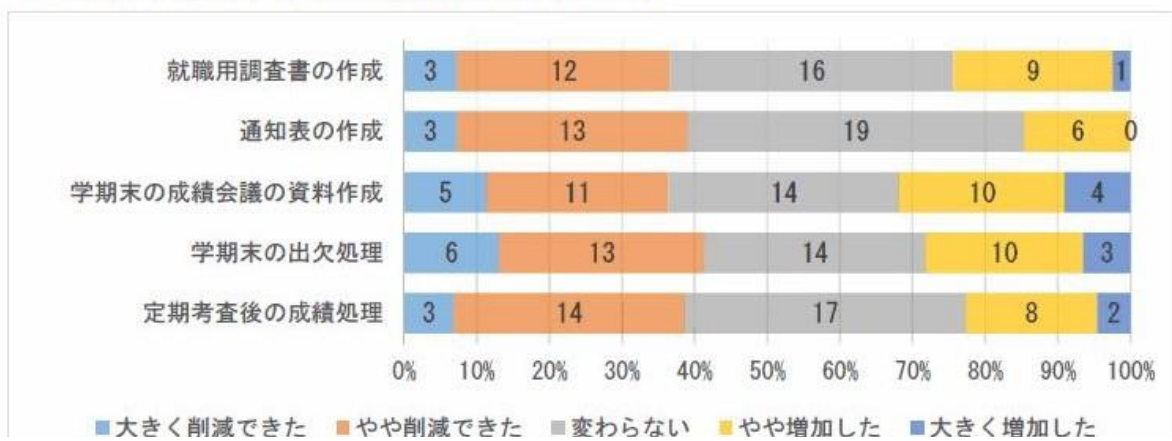
(2) 出勤簿に押印をする必要がなくなりました。(ただし、出勤簿はなくなりません。)

山形県立学校職員服務規程 第 6 条 職員は、出勤したときは、直ちに出勤簿(別記様式第 3 号)に自ら押印しなければならない。について、下線部が→「記載しなければ」に改められたことで、出勤簿の押印が不要となりました。

○山形県統合型校務支援システムの運用に係るアンケート調査結果について

(令和 3 年 12 月 14 日 高校教育課発出より 一部抜粋)

(3) 以下の項目について、担当者からみた先生方の全体の業務量の削減にどの程度影響したか、該当するものを選択してください。



今後の運用に向けての要望等(主なもの)

- ・特権管理者を増やしてほしい。
- ・グループウェアの改善をしてほしい。
- ・出退勤機能の Excel ファイルのやり取りが負担である。
- ・先生方の負担は減ったが、担当者の負担は大きくなった。
- ・年間を通してみると業務削減につながっていくことがわかった。
- ・今後、数年間はヘルプデスクを継続してほしい。

いただいた要望について、できるところから実現していきたいと考えています。ヘルプデスクは、次年度以降も継続します。

高校教育課、教育政策課では、校務支援システム担当者、教育情報ネットワーク担当者、校内 ICT 教育推進担当者を分けて担当することを推奨しております。

裏面に続きます。

R3 年度オンラインによる事例報告のご提出ありがとうございました。次号から、紹介していきます。また、今回の号にて、昨年度までにご報告いただいたものの紹介を終了します。各学校で、まだ取り組んでいない「好事例」がありましたら、是非参考にしてください。また、随時「好事例」を受け付けております。特に、校務支援ソフト（含む e-教務）による事例がありましたら、お寄せください。

○オンライン事例報告（令和 2 年度にいただいた分）

《鶴岡市立羽黒小学校》

- ・勤務改善について教職員にアンケートし、集約した結果をもとに定時退勤日（曜日）を決定。定時退勤日を週予定に記載し、予定黒板に「定時退勤日」のマグネットを貼付。定時退勤日に管理職が呼び掛ける。

《鶴岡市立西郷小学校》

- ・図書室の蔵書管理を電子化（バーコード化）することで、書籍管理並びに本の貸し出し・返却作業にかかる時間を短縮することができた。蔵書管理のデータ化をスクール・サポート・スタッフが中心となって行うことで、学級担任等に負担をかけずにデータ化を進めることができています。

《鶴岡市立上郷小学校》

- ・職員会議にかかる時間を 45 分に収める取組みをした。具体的には、資料の事前準備、提案は要点のみ。司会者は、質疑・意見・要望をわけて進行する。

《鶴岡市立大山小学校》

- ・会議の始まりと終わりの時間の明確化（原則最長で 60 分）
- ・保護者アンケートは緊急メールを活用した。入力事務の大幅な軽減。（約 1 週間）

《中山町立豊田小学校》

- ・担任と担任外の時間の割り当てを見直し、低学年にも週 1 時間ずつの空き時間を確保した。
- ・「学年行事は休日に行う」という概念を取り除き、児童の登校日である平日開催とした。児童が全員参加できるようになった。

《寒河江市立陵南中学校》

- ・午後に部活動や会議等を入れない「ゆとり日」を設定し、年間計画に位置付けたことにより、職員が積極的に年休を取得するようになった。心身のリフレッシュと時間外削減につながっている。

《高畠町立亀岡小学校》

- ・学習支援の方に入っていたことで、個々の困り感に細やかに対応できるようになった。

裏面に続きます。

《鶴岡市立あさひ小学校》

・地域学校協働本部「朝日てづね一たークラブ」が充実している。学校の環境整備、教育活動のサポートを担っていただいている。(グラウンドの草取り、地域学習のガイド役等) さらに、朝の時間帯の図書館運営にも関わっていただいている。貸出等の業務だけではなく、子どもたちと積極的に会話をして、心の動きを敏感にキャッチし、担任に伝えてくださる。様々な方が関わってくださっているおかげで、授業準備や校務分掌に取り組む時間確保ができています。

《川西町立小松小学校》

・職員会議の提案をパソコンで行うことで、印刷業務が軽減できた。

《河北町立北谷地小学校》

・地区の行事について、教頭が計画から実施まで関わってきていた。そこで、地区の会議や子ども育成会長と、地区の行事の狙いを確認したうえで、今後「地区」が中心となって進めることができるよう、徐々に移行する方向で活動している。

《山形市立第七中学校》

・勤務終了 45 分前までに学級での活動を終了させ、部活動の終了時刻を早めるために、10 分間の学習と、木曜日の清掃をなくした。また、学年集会は朝の時間から木曜日の清掃時間に移動した。

《朝日町立西五百川小学校》

・地域活動推進委員に、ICT 機器の準備や ICT 活用時の補助、デジタルカメラの記録の整理など掲示活動を担当していただいたことで、担任は、授業・教材研究等に集中して取り組むことができた。

《大蔵村立大蔵中学校》

・保護者及び地域のボランティアの数名が放課後の消毒や、校地の整備作業に参加してくれる体制ができた。

《河北町立谷地西部小学校》

・学級会計事務を事務職員が行っている。

《飯豊町立飯豊中学校》

・水曜日の授業を朝学習又は清掃カットとし、午後 2 時過ぎに生徒下校としたことで、退勤時間まで校務分掌が可能となった。

《真室川町立真室川あさひ小学校》

・通知表の基本方針及び学習指導要領の趣旨を踏まえながら、通知表の内容と見直しを行った。記述内容については、教務主任から素案を作成してもらい、運営委員会で検討した後、担任からの意見を集約、再調整し、職員会議で共通理解を図った。1 学期末の学校経営反省の際、「働き方改革」の項目に職員評価を記入してもらい、成果と課題を把握した。

実践の報告、本当にありがとうございました。